



January 25.2011

No.106



かんだ

kanda

議会だより

12月
定例会

新年のご挨拶	2
第7回定例会・ 一般会計補正予算他	3~5
ズバリ町政を問う(一般質問)	6~18
委員会視察研修レポート	19
輝け青春	20



本町の新成人417名

皆さまの健康を願って!

子宮頸がんワクチン接種委託料
1,444万円



12月定例会(7日から21日)
補正予算・条例・工事請負変更契約可決

一般会計補正予算・1億4,701万円追加

苅田町町民温水プールの設置、
管理及び運営に関する条例

温水プール料金決定!
大人400円(町内)・小学生以下100円(町内)



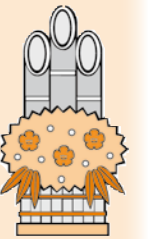
『町民温水プール』完成予想図

新年のごあいさつ



苅田町議会

議長 武内 幸次郎



謹んで新年の御祝詞を申し上げます。
町民の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

また、町政並びに議会活動におきましても、常日頃から温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、皆様もご承知の通り本年は卯年ですが、卯年は、ぴよんぴよんと跳ねるうさぎのイメージからその事が飛躍的に上昇する歳と言われています。

このことから、本町においても卯年のイメージどおり、大きく飛躍する年であってほしいと願ってやみません。

我々苅田町議会も、うさぎの耳のごとく、耳をピンと立て、町民の声を町政に反映できる議会にしたいと気持ちを新たにしているところであります。

また、本年度は、議員の改選の年でもあります。町民の皆様が安心・安全・快適に暮らせる、豊かさ・潤いのある町づくりに努めてまいりますので、なにとぞ倍旧の切にお願ひ申し上げます。

ここに町民の皆様方のご多幸をお祈りいたしますとともに、本年も相変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。新年の挨拶と致します。

平成二十三年 元旦

卯年生まれ!

町内の卯年生まれの方は2,890人(1月13日現在)



馬場小学校5年生

あつまれ!



総務 常任委員会報告



総務常任委員長
坂本東二郎

委員会に付託された議案1件は、慎重審議の結果、可決した。

●平成22年度苅田町一般会計補正予算(第7号)

Q 公用車の総数は何台か。

A 消防自動車を含んで86台である。

Q 電気自動車導入の長期的な計画はあるのか。

A 1台導入予定であるが、耐用年数等の問題で一気によやすというわけにはいかない。

Q 防災無線機の故障の原因は。

A 落雷が原因である。

●慎重審議の結果可決した。

●平成22年度苅田町一般会計補正予算(第7号)

Q 農林水産業費、農地費委託料として、940万円が計上されているが、内容は。

A 雨窪地区の上道池に高速道路の橋脚が、施行される。

●堤体に若干の漏水があるので改修を行う。透水係数の調査の為、堤体に3本のボーリング調査が必要。

●平成22年度苅田町下水道事業会計補正予算(第3号)

●特段の質疑、意見なし。

厚生文教 常任委員会報告



厚生文教常任委員長
友田 敬而

委員会に付託された請願1件、議案5件は慎重審議の結果、請願は不採択、議案は可決した。

●平成22年度苅田町一般会計補正予算(第7号)

●総務費

Q 印鑑カードから新しいカードへの切りかえ登録は夜間行わないのか。

A 状況を見ながら検討する。

●民生費

Q 活字文書読み上げ装置をバンジープラザに設置するが、庁舎等の設置は考えていないのか。また補助金はどのくらいか。

A 100%県費補助。普及の状況により今後の設置を検討したい。

Q 実施する子供広場の目的が、町民のニーズと隔たりがある。保護者は長期休暇中の子供の居場所を求めているが。

A 実施状況を見て、少しずつ保護者の実情とあわせていきたい。

●教育費

Q 新型インフルエンザ接種に関して、課税証明の簡易な取得方法は検討したのか。

A 郵送で対応する。

Q 町内の小中学校のトイレ改修の完了年度は。

A 平成26年度完了予定。

Q 苅田中学校の楽器の修理が計上されているが、新津中学校は行わないのか。

A 新津中学校は、来年度予算で計上する。

●平成22年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

●特段の質疑、意見なし。

●平成22年度苅田町介護保険特別会計補正予算(第4号)

●特段の質疑、意見なし。

●苅田町民温水プールの設置管理及び運営に関する条例の制定について

Q 税の公平性の観点から、なぜ町民と町外者との区別をつけないのか。利用料金、利用形態について今後どのように考えるのか。

A 現段階ではどのくらいの利用があるのか、料金収入があるのか見当がつかない。今後状況を見て、町外者の利用が多く、町民に不便がある場合、検討したい。

●その後、委員から、利用料金の試算が示され、執行部がその試算をもとに議案の訂正を確約した。

Q 広域での利用促進が今後の課題ではないか、料金の引き下げを指定管理者との協議で目指してもらいたい。

A 苅田町だけが広域オープン化を進めるのではなく、近隣自治体と協議の上、検討していきたい。

●工事請負契約の締結についての議決内容の一部変更について(苅田町総合福祉会館改修(建築機械設備)工事)について

●特段の質疑、意見なし。

第7回 定例会

請願

請願第1号

国民健康保険税の引き下げ等を求める請願書………不採択

意見書

意見書案第17号

TPP(環太平洋経済連携協定)への参加に反対する事を求める意見書(案)………可決

意見書案第18号

ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)総合対策を求める意見書(案)………可決

意見書案第19号

すべての患者、障害者、高齢者が安心して暮らせる社会を強く望む意見書(案)………可決

意見書案第20号

国民の医療を侵害する国民健康保険の広域化に反対する意見書(案)………否決

意見書案第21号

尖閣諸島沖における中国漁船衝突事件に関する意見書(案)………可決

意見書案第22号

「一人暮らしの専婦」医療制度に関する意見書(案)………可決

人事案件

固定資産評価審査委員会委員に

渡邊 和 義氏を選任することに同意

人権擁護委員の候補者に

重松 洋 佑氏を推薦することに同意

人権擁護委員の候補者に

大石 末 子氏を推薦することに同意

人権擁護委員の候補者に

猪本 泰 子氏を推薦することに同意

平成22年 第6回 苅田町議会臨時会

(平成22年11月29日)

総務常任委員会報告

総務常任委員長 坂本 東二郎

委員会に付託された議案9件は慎重審議の結果可決した。

●平成22年度苅田町一般会計補正予算(第6号)

●本町職員のラスパイルズ指数は。

A 99.1で、県内29位である。

Q 給与改定の時期について、増額については遅く、減額についてはさかのぼって適用とこのとであるが。

A 減額適用については、人事院勧告どおりに行っている。

Q 改定で給与の逆転現象が生じるのではないか。

A 55歳と56歳との間で起きるが、55歳職員が56歳になった時点で解消される。

●平成22年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

●特段の質疑、意見なし。

●平成22年度苅田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

●特段の質疑、意見なし。

●平成22年度苅田町介護保険特別会計補正予算(第3号)

●特段の質疑、意見なし。

●平成22年度苅田町土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)

●特段の質疑、意見なし。

●苅田町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

●特段の質疑、意見なし。

●苅田町長及び副町長給与条例等の一部を改正する条例の制定について

●特段の質疑、意見なし。

●苅田町火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

●特段の質疑、意見なし。

●苅田町手数料条例の一部を改正する条例の制定について

●特段の質疑、意見なし。

産業建設常任委員会報告

産業建設常任委員長 三原 茂

委員会に付託された議案3件は慎重審議の結果可決した。

●平成22年度苅田町下水道事業会計補正予算(第2号)

●特段の質疑、意見なし。

●平成22年度苅田町水道事業会計補正予算(第3号)

●特段の質疑、意見なし。

●苅田町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●特段の質疑、意見なし。





公明党 白石 学 議員

Q 税金の見直しについて聞
う。

A 町民税は、大きな伸びは見
込めない。固定資産税は多
少減少する。税金全体の動
向は、自動車産業関係の国
内外の経済情勢を注視して
いく。

Q 「産・官・学の連携」につ
いて聞う。

A 連携のあり方は難しい。小
さな部分では進んでいる。

Q 21年度の町政報告では、
22億円余りの実質収支の黒
字とあるが、単年度での収
支は黒字か。

A 平成21年単年度では2億
円余りの赤字。

Q 以前は詳しく数字を書いて
あったが、21年度の町政報
告では半分しか書いていな
い。雑になったのではない

Q 財政的な支援は大きな課題
である。

A 特段意図があった訳では
ない。

Q 公債の発行高はどのくら
いか。

A 町債の発行残高は140
億円余り。

Q プールは起債によるのか。

A 12億円程度の起債を予定
している。

Q 大阪府池田市の例では、
個人町民税の1%を、校区
を11に分けて予算提案権を
与え、地域コミュニティを
高めるための取り組みがさ
れている。

A 補助金の見直しの方向は、
大体近いところがある。

Q 財政運営について聞う

A 自治体経営の視点に立つ

Q 以前、ペットボトルキャッ
プ回収の提案をして、実績が
上がったとのこと。町民の意
識は高い。住民の参加があれ
ば町の活性化にもつながるの
ではないか。

A 団体として協働のまちづ
くりに参加する、またはボラ
ンティアやNPO的なレベル
でのまちづくりに参加する。
それらを整理して協働のまち
づくりに役立つ形を整えてい
きたい。



ボトルキャップを回収する子ども達

白石 学 議員.....7
1. 財政運用について
2. 協働のまちづくりについて

坂本東二郎 議員.....8
1. 荻田町の少子化対策について
2. 荻田町の産学官連携について
3. 図書館の20年と今後について

富安 正直 議員.....9
1. 長期将来の町づくりのために戦略的な企業誘致や官民協力体制を
2. 教育改革の今後
3. 障害者等移動支援事業の充実を

松蔭日出美 議員.....10
1. 荻田駅前の駐車場開始時期はいつか
2. 等覚寺の観光開発について
3. 片島地域から白川地域の少子化対策について

友田 敬而 議員.....11
1. 町の中心「荻田駅」どのように発展させるのか
2. 中心市街地再生・観光立町へのキーワード
「井場川河口尻埋立地」町の取り組みはいかに

三原 茂 議員.....12
1. これからのまちづくりについて

沖永 義樹 議員.....13
1. 与原区画整理事業の進捗状況
2. 定住化問題
3. 小波瀬西工大前駅及び近郊問題
4. 安心安全な通学路について

林 繁実 議員.....14
1. まちづくりについて (全般)

木原 洋征 議員.....15
1. どの子ども学べる、伸びる教育環境を
2. 誰もが安心して暮らせるまちづくり
3. 誰もが安心して受けられる国保にするために

常廣 直行 議員.....16
1. 吉廣町長2期目2度目の予算編成へ向けて
2. 荻田町の新たな成長戦略

小山 信美 議員.....17
1. 学力向上の取り組み
2. 荻田駅周辺環境整備を
3. 発達障がい者への支援対策
4. ヒトT細胞白血病等の支援について

梶原 弘子 議員.....18
1. 住宅リフォーム助成制度の創設を願う
2. 荻田町にとって伊良原ダムは必要か
3. 社会福祉協議会職員の処遇改善について
4. 陸上競技の練習場確保を願う保護者の声が出ているが、
町民の願いにどう応えるのか



※掲載は登壇順

詳しくは議会HPの議事録をご覧ください。http://www.town.kanda.lg.jp/gikai/gikai.htm



ニューフォーラム 富安 正直 議員

北九州空港の苅田側をどうする

Q 北九州空港の南側、苅田沖土砂処分場は長い間広大な荒地として放置されていたが、現在地盤改良工事にかかっている。以前、麻生知事が航空産業を誘致すると明言されたが、現状と今後は。

A 地盤改良工事の完了は5年後、滑走路や道路などの用途に必要な土地以外で利

用可能になるのは約70ヘクタールになる見込みだ。今年7月に三菱の小型ジェット機工場を北九州、苅田、福岡県の三者一体で誘致活動を行うため、安川電機の利島会長を誘致委員会の代表として組織が出来た。全国の候補地との誘致合戦となるだろう。

Q 町長はどう対応するのか。

A 空港島の北九州側にも候補地がある。苅田側にも候



北九州空港

な誘致を進めたいが、確たる話ももっていない。

Q 町の方針として必ず苅田側に誘致する決意ということがあるか。

A 国、県とともに実現に向けて取り組みたい。

町独自の人材育成プログラムで立地企業に人材供給を検討する

戦後、苅田港は廃止予定だった

Q 戦後、苅田港はGHQによって、廃港と決められていた。港無くして苅田の未来無しと考えていた当時の長井宅三郎町長は、GHQの運輸局長ミラー少将と直談判して不可能と思われた苅田港の存続を実現した。もし町に苅田港が無ければ、何も無いさびれた町になっていただろう。現在の町長も、政治家として数十年後につながる権限と可能性を持つことを自覚し、事に当たるべきだ。

A 例えば、日産の積み出し港は4万トンクラスの船しか入れないが、韓国の現代自動車は7万トンクラスが2隻並べて入れる。そのような港を目指したい。

戦略的な産学官連携とは

Q 苅田は工業によって栄え、立地する高校や大学も工業に縁が深い。また企業誘致は県と進めている。それぞれと協力しながら立地企業にリサーチし、求められる人材を育てる苅田独自のプログラムを確立するなり、教育機関を設立するなどの具体的取り組みを。

A 提案を検討する。

現在策定中の総合基本計画に町長の意思が見えないとの指摘がある。そんな思いがあるなら反映すべきだ。

移動支援事業の充実を

Q 障害者等移動支援事業は利用可能時間が行橋や北九州と比べて利用しにくい状況にある。近隣並みにすべき。

A 近隣の現状と利用状況等を考慮して、見直すべきところがあれば見直したい。

苅田町の少子化対策について 次世代育成支援対策として取り組む

少子化問題は日本を襲う最大の国難であり、本町も例外ではない。日本の国力維持のため、新生児は年間150万人。本町で言えば、年間5000人位と思うが、どう取り組むのか。

A 「いきいきと子どもを育て、のびのびと子どもが育つまち苅田」を基本理念とする次世代育成支援対策行動計画を策定した。

Q 本町の特徴として男性就労型企業が多い。単身者に対して出合いの場づくりができないか。

A 福岡県やみやこ町が出会いサポート事業を行っており実績も上がっているようだ。町として検討したい。

Q 男性の育児休暇について。



次世代育成計画

役場内において制度はあるが、活用の実績はない。

Q 本町に待機児童は存在するのか。

A ゼロ歳児、一、二歳児について一部待機児童が出ている。

Q その対応策は。

A 定員増を含めて協議を重ねているが、即待機児童ゼロは難しい。

Q 本町の産官学連携では、今回の西日本工業大学の小波瀬キャンパス新本館棟建設計画は明るいニュースだ。北九州シフトを心配しているが、本町の大学として、やっていくという事ではないか。

A 全く同感だ。苅田に腰を据え町民に施設を一般開放していくと聞いている。



清明会 坂本東二郎 議員

大学が地域社会に果たす役割に、社会貢献活動がある。また、大学がそれを競い合う時代である。

A 地域貢献ということとは、とても大きな柱である。

Q 特に小中学校の正規授業の中に大学での勉強を位置付けたらどうか。

A 出前授業や理科離れの現状から、学校として大事にしていきたい授業形態ではないかと思う。

小波瀬地区は西工大の小波瀬キャンパスの再開発とともに医療法人小波瀬病院の新設投資。さらには看護学校の新設等、小波瀬西工大前駅を挟んで両側が大きく変わりつつある。医療、教育、福祉の整備は人間が生きる最大のところである。地元行政として、駅改修計画等も地域住民や大学、病院などと意見交換すべきである。

A まさにその通りである。町にとっても活性化につながると思う。



JR小波瀬西工大前駅



清明会 友田 敬而 議員



未来 松蔭日出美 議員

Q 苅田駅前の駐車場の開始時期はいつか

A 準備ができ次第 一月中旬には開放したい

Q 障害者用のスペースはとっているのか。

A 全20台、うち2台が車いす対応。

Q 等覚寺の観光開発については。

A 等覚寺地区の自然と文化、農村景観百選に選ばれた棚田、国指定重要無形民俗文化財の松会、国指定天然記念物の青龍窟、特産品加工所、空の家等の観光資源を広くPRを行っていく。

Q 分校の跡地については。子供達が研修できるものを作ってもらいたいが、進捗状況はどうなっているか。

A 昨年度、等覚寺の分校跡地に生涯学習施設を作るための測量を行った。今年、分校跡地の地質調査、ボー

Q 片島地域の観光開発については。

A 昨年度策定された次世代育成支援対策後期行動計画に基づき事業を展開。基本理念は、生き生きと子供を育て、伸び伸びと子供が育つまち苅田、安心して子供を産み、子育てに喜びや楽しみを見出すことのできる環境を整えることが本町の少子化対策であると考え、さまざまな施策に取り組んでいる。

Q 片島の雇用促進住宅を町が買って、これにエレベーターを付けることを考えたことは。

A 一応考えてみたが構造上、一棟ずつ区切られているので何基も付けることになり、検討中だ。

Q 現地調査に行っていたら

リング調査を現在行い、一月中旬に報告書が出る段階。

Q 片島地域から白川地域の少子化対策について、白川小学校も100人を切って、片島小学校も50数人になっている。そこをしっかりと考えていただきたい。

A 昨年度策定された次世代育成支援対策後期行動計画に基づき事業を展開。基本理念は、生き生きと子供を育て、伸び伸びと子供が育つまち苅田、安心して子供を産み、子育てに喜びや楽しみを見出すことのできる環境を整えることが本町の少子化対策であると考え、さまざまな施策に取り組んでいる。



白川小学校付近

Q 現地に行つて、どういう対策がとれるか、話をしたい。

A 白川地域については、住宅政策の中で住宅を作る計画はない。どう少子化対策を進めていくのか。

Q 白川地域に総合的な公園を造っていただきたい。

A 考えられることがあれば考えてみたい。

Q 白川自体に子供を増やすことは大変難しい。観光等で交流人口を増やして活性化を図りたい。

A 白川自体に子供を増やすことは大変難しい。観光等で交流人口を増やして活性化を図りたい。

Q 不評の苅田駅 今後どのように整備するのか

A 現時点ではどうしようもない

苅田駅周辺整備

Q 苅田駅のペDESTリアンデッキ。何の目的のために作ったのか。

A 計画当初の目的を詳しく知る者がいない。私(町長)も知らない。現状はイベントなどを行いたい警察の許可が下りない。

Q ペDESTリアンデッキの当初の目的は、駅周辺施設への空中回遊路。

A 一番大切な問題であり、一番難しい問題である。

Q 駅東口ロータリーの駐車場。なぜ、問題山積の状態無料で開放するのか。

A 最善の策は近隣の駐車場のよう有料開放。要望が多いのでとりあえず開放する。問題を心配してもしよ

うがない。起きた場合はそのつど対応する。

Q 町民の強い要望、駅前交番移設。町長の考えは。

A 現状は、非常に難しい。

Q 町民の約三分の一、1万人1千人以上の嘆願書が平成20年に出されている。その

重みは感じないのか。

A 感じるが、警察の意向も尊重しなければならない。

Q 警察との、協議はいつか。

A 公式協議は平成21年に3回だけ。しかし、行橋警察署と接する折には話をしているが、移転費用、用地を全額出せとなる。警察との交渉上、必ず作るとは言いにくい。

Q 全額出しても1億か2億。町民の行き場のない不安、思いを真剣に受け止めてほしい。

A 移転のため努めていく。

Q グランドデザインもなく、どのように協議するのか。

A 私(町長)だ。

Q 目先の利潤ではなく、将来に寄与するように税金を投入するのが公共事業である。民設民営では町のビジョンが伝わりにくい。

A 町が負うリスクを最小限にしなければならぬ。そのため民設民営手法。



苅田駅周辺



無会派 沖永 義樹 議員

具体的には

Q 与原区画整理事業の進捗状況について

A 11月下旬から個別説明会を開催しており、仮換地指定に向け作業している。区画整理地区内の移転戸数は72戸あり、家の補償については個別に説明する。

Q 老人の一人暮らしが多く、非常に不安に思っている。特に親身になって対応して

A 城南団地の未利用地に住宅の建設、土地を造成し分譲地として販売等の考えは、

区画整理事業以外の定住化対策は

Q 城南団地の未利用地に住宅の建設、土地を造成し分譲地として販売等の考えは、



城南団地解体跡地

町営住宅については建替え等の計画がはつきりせず、将来的に町として活用することがあれば、有効活用し処分も含めて検討する。

Q コミュニティバスを利用した、独自のアイデアを出したスクールバス導入を考えたかどうか。スクールバス購入費の国庫補助制度はないか。

A 白石地区から通学する子ども達は、はたしてバスで

Q 与原区画整理事業の進捗状況は

A 換地設計・地質調査・詳細設計が今年度完了

Q 今後、定住化に向けインフラ整備、道路の拡張、土地の造成ができる環境整備に行政が力を入れて頂きたい。

安心安全な通学路について

Q 白石地区の子ども達は通学路に歩道がなく、田のあぜ道を通って学校に行っている子どももあり、自治会から陳情も出されている。安心安全な通学路として、行政は考えるべきではないか。

A 与原小学校においては、通学内の危険マップというものを作成し、保護者や地域のかたがたに配って頂き、危険個所の見守りをお願いしている。

Q 温水プールのコストは

A 事業費12億8千万円、運営費は6千万円

温水プール事業の取り組みについて

Q チェック機能である議会に対しての説明と現状との整合性がなく理解できない。誠意のある説明がなされているのか。また、計画どおりに実行できているのか。

A 誠意をもって説明している。運営は始めてみないとわからない。

Q 温水プール事業の目的の一つは、競技大会を招致し経済効果を図るとともに地域の活性化につなげるだった。具体的にどのような大会を招致し、どれくらいの経済効果を見込んでいるのか。

A 1,000人以上の大会は、



無会派 三原 茂 議員

不可能。経済効果は、調べた。もう一つの事業目的である健康増進の利用見込みについては、560名ぐらいの方が見込まれるとの説明を受けた。税の公平・公正からこれだけの予算を投じてよいのか、疑問を感じている。利用者の算出根拠と一日当たりの利用者数とどの年代層の人達が利用すると想定しているのか。

A 基本計画では、年間約5万9千人、一日約200人である。年齢別は、想定していない。

Q 現在、民間事業者が行橋市・荻田町・小倉南区にある。実態調査を行ったのか。

A 調査していない。

Q 計画では、駐車場用地として5,000万円以上の税金が使われようとしている。利用状況を見ながら検討すべきだ。

A 不足するという状況が予想される。

安心・安全なまちづくりについて

Q 町民の皆様が安心・安全に暮らせる町になっているのか。

A 努力はしているが、100%安全とは思っていない。

Q 一人暮らし見守り事業について、人として命を授かり、最期を迎えるその日に誰にも見守られず、また手厚い治療も受けずに迎えることほどつらく悲しい事はないと思う。町長の考え方は。

A 残念なことだと思う。今後、この事業を充実させていきたい。

Q 現在この事業は、社会福祉協議会に委託されている。職員は、他の業務を抱えているので、専任できない。委託を任せるなら人員体制をしっかりとしたものにするべきだ。

A 適切な人員配置になっているかどうか見直したい。



温水プール外観予想図



与原区画整備事業予定地（ボーリング調査）

対応できるかの問題もあり、100円運行がかなり町の負担になる。また確かに、防犯上の問題、さらに交通上の問題等もいろいろあると思うので、少し検討してみたい。また、歩道の問題は全庁的な協議をする。



日本共産党 木原 洋征 議員

Q 子どもの学べる、伸びる教育環境を

A ※スクール・ソーシャル・ワーカー（SSW）などの連携で、随分、学校現場に戻れるようになった。

Q SSWの働きで、学校と

A 子ども・家庭がつながるようになった。教育改革を推進するために、正規職員として採用すべきでは。

A SSWの重要性は認識しており、改善はしたい。

Q 町雇用の教員は1年契約で将来性がない、待遇改善はできないのか。

A 専科教員は待遇改善を検討している。

Q 図書館職員を含む嘱託職

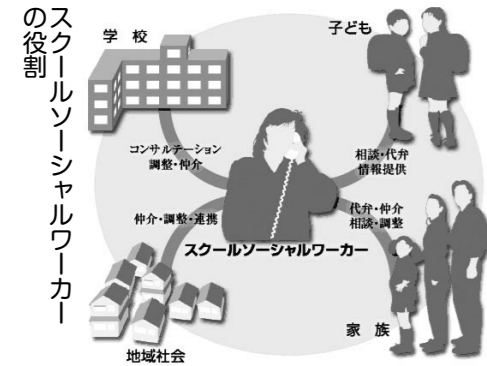
A 意見書には否定意見もあり、検討のしようがない。

Q 町内でも介護による疲れから、うつや病気になる事例、

A 厚労省発表の介護保険改善の意見書は、軽度の要介護・要支援を保険対象外から2割負担など、保険あつて介護なしを進めることになり、本町として検討はしたのか。

A 意見書には否定意見もあり、検討のしようがない。

Q 町内でも介護による疲れから、うつや病気になる事例、



Q 厚労省発表の介護保険改善の意見書は、軽度の要介護・要支援を保険対象外から2割負担など、保険あつて介護なしを進めることになり、本町として検討はしたのか。

A 意見書には否定意見もあり、検討のしようがない。

Q 町内でも介護による疲れから、うつや病気になる事例、

A 現状でも多額の繰り入れがある。引き下げは考えていない。

Q 愛知県の一宮市では、独自に法定減免の1割上乘せや70歳以上、18歳未満の子ども等にも3割減免している。本町でできないか。

A 十分検討したい。

Q 国保法44条は広島市のように、通院や低所得者にも適用すべきではないか。

A 4月適用に向けて、2市2郡で協議中。前向きに進めて行きたい。

放課後子どもひろばは開設日時を拡大を

利用状況見てよりよい方向をめざす

Q 児童館の設置や空き教室などの活用を過去11回取り上げてきた。放課後子どもひろばの来年度実施については評価する。実施日時を増やす方向で検討を。

A 今後利用状況をみながら、よりよい方向へ持って行きたい。

Q 虐待、無理心中をほのめかすなど、介護者自身が限界を感じているとの声も聞く。状況を把握しているのか。

A 把握はしているがもれている部分もある。

Q 国保税引き下げ等の請願署名は2千5百筆を越えている、町民の悲痛な叫びを聞くべきだ。

A 現状でも多額の繰り入れがある。引き下げは考えていない。

Q 愛知県の一宮市では、独自に法定減免の1割上乘せや70歳以上、18歳未満の子ども等にも3割減免している。本町でできないか。

A 十分検討したい。

Q 国保法44条は広島市のように、通院や低所得者にも適用すべきではないか。

A 4月適用に向けて、2市2郡で協議中。前向きに進めて行きたい。

道徳教育のまちづくり全般について

大きな課題として取り組んでいる

Q 人の心の在り方に、非常に危機感を抱いている。人の成長過程でのモラル。道徳教育の欠如がある。家庭環境の影響も否定できないが、それを補う教育にも大きな責任がある。菊田町まちづくりの根本、基本である教育行政から文部科学省の学習指導要領にある「道徳」、「礼節」の教育の実態について、教育長に本町内全小中学校で進められている「基礎・基本」の習得の取り組みの概略を。

A 道徳について小学校では低学年、中学年、高学年に目標を決め、事の善悪等を子ども達に獲得してもらい、実践する。

Q 教育改革の「基礎・基本」の習得について現在、本町の

A 文科省指導として、小学1年生34時間、それ以外は35時間と思う。実態として承知していない。

Q 道徳の指導内容は、どのような組み立てになっているか、その中で礼節はどこに位置付けられているか。

A 学習指導要領は、どこにどのような部分では承知していない。

Q 9月議会で教育長に「リーガルマインド」について尋ねたが、教育委員会は国の基準を守る必要がないのか、学校に対し基準を守るようにしなくてもよいのか。

A 学習指導要領の法的拘束力はある。それに沿った授業が展開される指導の責任はある。

Q リーガルマインドについて聞いた。ここを理解しないと教育委員会が職員を指導できない。

A 指摘には十分承知している。



馬場小学校2年生

A 指摘とおりである。

Q 本町の教育に最も今必要なのは、子ども達の道徳・体力・基礎学力の育成。教

※リーガルマインド
法律に関する深い専門知識と経験に基づく適切な判断能力



安立会 林 繁実 議員

ないで、私自身勉強したい。

Q 教育委員会は、子どものために24時間体制の気概がないとだめである。「基礎・基本」とは、教師の育成だと思いが。

A 指摘とおりである。

師力の育成、生徒指導力・授業力・感化力である。教育長の心の通った手づくりの温かい教育を教育改革に求める。



公明党 小山 信美 議員

- Q** 新聞活用教育の取り組みは。
- A** 自主学习ノート作りの際、新聞記事から自分を表現できるように、今後活用を考えていく。
- Q** ブックスタート事業に続くもので、新1年生に家庭や学校で楽しく本を読むきっかけ作りになるように本をプレゼントするセカンドブックスタート事業については。
- A** 多くの教師が活用できるように研修を重ねていく。
- Q** ドブック事業については。
- A** ブックスタート事業は成功している。同様にいろいろ検討してみたい。
- Q** 移動可能な便利でメリッとのある電子黒板の活用については。

Q セカンドブック事業の推進を A すべて検討し、考えていく

刈田駅周辺の環境整備を

- Q** 交番設置の取り組みは。
- A** 行橋警察署と協議中だが難しい。今後も協議する。
- Q** 駐車場の開放と時計の設置は。



JR刈田駅周辺

- Q** 東口広場目的スペースとして1月の中旬までに開放予定。時計は来年度設置。
- A** 朝8時から夜8時まで。最大2時間。
- Q** 駅東口南側駐輪場の屋根の整備については。
- A** 東口公園は整備中であり、公園整備とあわせて考えていく。
- Q** ペデイストリアンデッキにイルミネーション等で来客対策をしないのか。
- A** 以前、見積もったが予算面



JR刈田駅東口南側駐輪場

で断念した。検討もしているので飾る方向で、今後考えていきたい。

発達障がい者への支援

- Q** 5歳児健診の巡回相談についての取り組みは。
- A** 来年度からの取り組みを検討する。
- Q** 幼児期から学齢期へのプログラム作りについては。
- A** 移行支援は不十分。来年度、関係機関で協議し実施していきたい。
- Q** 発症した人への支援は。
- A** メンタル的サポートも取り組んでいく。

ヒトT細胞白血病等の支援について

- Q** 支払い方法は。
- A** 県では平成23年1月1日から無料。10月6日以降すでに受診した人はパンジープラザで償還払いをする。
- Q** 相談体制や感染者支援は。
- A** 県主催の研修会に参加し、知識を学び県と連携をとる。

Q 地域主権、どう取り組む A 権限委譲に対応できる自治体へ



ニューフォーラム 常廣 直行 議員

- 本町の新たな成長戦略**
- Q** 2011年予算編成へ向けて、新たな成長戦略は。
- A** 町民と行政の協働によるまちづくり、定住化を進め魅力ある都市づくりを柱に特徴あるまちづくりをめざす。
- Q** 次年度予算編成に町長の思いと政策をどのように実行しようとしているのか。
- A** 子育て支援、教育改革、健康づくりや、社会インフラ整備、観光や文化・芸術振興等の施策をさらに進める。
- 産業政策におおん**
- Q** モノづくり産業は急速かつ大幅な円高により海外シフト拡大が強く懸念される。特に産業を根底から支えてきた中小・地場企業への影響は。



臨海工業地帯

響が大きく雇用問題も顕在化している。農業、漁業、商業等にも大きな影響を与え、*TPP云々する以前に衰退の一途を辿っている。本町の豊かな財政から独自の政策が求められるが。

定住化政策

- Q** 町長は新聞インタビューで「合併は考えていない。単独で市に昇格したい」と答えている。人口はこの4年間で35,000人から微増。具体的な施策は。
- A** 雇用創出を定住化につなげる。与原地地区画整理事業などの住宅施策や、子育て支援、教育施設等の充実を図っていく。

で具体的振興策の方向性を出す。漁業は、漁業資源回復のための稚魚の放流、栽培漁業でカキの養殖、魚の加工販売等、付加価値の向上を推進している。

観光産業

- Q** 観光産業も定住化促進に大きく貢献する。観光拠点施設の建設が停滞しているが。
- A** 物販、飲食、情報発信、交流体験の機能を備えた施設として県と協議に入る。

*TPP(環太平洋経済連携協定)アジア太平洋での自由貿易圏の構築を目指すための協定。参加国間での貿易に関する関税の撤廃を原則としており、例外規定が少ない完全自由化ともいわれる。



輝け青春 クラブ活動

刈田工業高校 陸上部

陸上部部長 元 松 泰 輝 (機械科2年)



私たち刈田工業高校陸上部は3年生が引退し、現在男子15名・女子5名の計20名で顧問の先生の指導の下、日々練習に励んでいます。

昨年沖縄で開催されたインターハイ(全国高校総体)に3年生の

き、本校陸上部のインターハイ出場連続記録を止めないように絶対に今年はインターハイ出場したいと思っています。また、新チームの部長になり、引退した先輩方のように部員をまとめていくのは難しいのですが、全員で協力し合い「全員県大会出場！」を目指し頑張っています。まだ目標には届きませんが、昨年の新人戦北部ブ



ロック予選では6名が県大会に出場し、フィールド部門で優勝することができました。今年のインターハイ予選は、さらに目標に近づけるよう日々の練習に取り組みます。

最後に、いつもお世話になっている先生方、地域の方々に恩返しできるよう部員一丸となって頑張りますので、これからも応援よろしくお願いいたします。

皆さん議会傍聴に来てください

3月定例会の予定

3月1日(火)から
一般質問は3月7日(月)・8日(火)・9日(水)
《開催時間》10時~17時 受付は庁舎6階
問い合わせは議会事務局
☎093-434-1981

12月議会は
92名の
傍聴者が
ありました

お知らせ

政治家は年賀状等の挨拶状を出すことが禁じられています

政治家は選挙区内の方に対し、年賀状、暑中見舞状などの時候のあいさつ状(答礼のための自筆によるものは除く)を出すことは禁止されています。

あとがき

新年あけましておめでとうございます。

うさぎ年は、株価が跳ねあがる年だと言われていますが、ぜひ活気ある年になって欲しいものです。

議会広報特別委員会では、年4回議会だよりを編集していますが、皆様方に議会活動や議論内容がわかりやすく、知りたい内容になっているか悩みながら、しかし、少しでも改善しながら編集に取り組んでいます。

今年は、議員の改選期で現編集委員は9月で任務を終えますが、議会だよりをもっと充実させるため、皆様のご意見を寄せていただければ幸いです。

伊 塚 弘

議会広報特別委員会

委員長 井上直修
副委員長 常山美行
委員 小原信
委員 榎谷洋
委員 伊藤忠
委員 山田敬
委員 山口純
委員 山根明
委員 伊藤弘

“ “ “ “ “
山 伊 榎 木 小 常 井
口 塚 田 谷 原 山 廣 上
純 敬 忠 洋 信 直
治 弘 而 明 征 美 行 修